



CONTENTS

特集

- 2 平和で安全な町  
～核兵器の廃絶を願って～
- 6 9月は認知症月間です!
- 8 まちの話題
- 13 子育てガイド
- 16 インフォメーション
- 26 年金だより
- 27 健康テラス  
消費者注意報
- 28 図書館だより
- 29 長崎県立大学
- 30 躍動する長与人
- 31 緊急連絡先  
相談窓口



町の情報を  
発信しています!  
(公式SNSなど)

広報ながよは、  
以下のコンテンツから  
ご覧いただけます



nagasaki  
e-books

マイ広報紙



# 平和で安全な町 ～

1945年(昭和20年)8月9日11時2分、長崎に一発の原子爆弾が投下され、多くの生命、財産が奪われました。被爆から79年経った今なお、地球上には1万2,500発近くの核兵器が存在しています。

二度とこのような惨禍が繰り返されないよう、長与町では平和な世界の実現を願って様々な平和事業を行っています。

## 平和のメッセージ

79年前、この長崎に一発の原子爆弾が落とされました。辺りは黒一色に染まり、赤い炎に包まれました。亡くなった方々、被爆した方々の苦しみは、今も続いています。

私たちは、戦争を知らない世代です。体験したことはなくても、戦争の悲惨さ、平和の大切さを伝えていくことは、今、生きている私たちにしかできないことです。

平和とは、何でしょうか。

戦争や紛争などのめごとや心配がなく、世の中が穏やかな状態にあること、幸せを感じながら生活できることです。

私の幸せは、家族や友達と一緒に生きることです。大声で笑ったり、時にはけんかをしたりしながら、一緒につらいことを乗り越え、仲よく過ごしていくことです。そのためにも、自分の気持ちを相手に伝え、相手の気持ちをしっかりと受け止めることが大切だと思います。

多くの幸せは、当たり前のように学習し、当たり前のように遊び、当たり前のようにご飯を食べ、当たり前のように明日が来ることです。でも、世界には、僕たちにとって当たり前のことが当たり前できない人がいるのです。平和だから学習や遊ぶことができ、ご飯も食べ、明日が来るのです。そんな平和に感謝して生きることが大切だと思います。

お互いの気持ちを理解することや、心から笑顔で接することを大切にして、身の回りにあるいじめや差別を無くしていきたいです。この私たちの決意も、平和な世の中をつくる力になると信じています。

戦争や原爆で亡くなった子供たちがかなえられなかった夢を、私たちが受け継ぎ、自分の夢や目標に向かって努力していきます。平和を愛し、次の世代へつなぐことが、今生きている私たちの役目です。この平和のメッセージを私たちの誓いとして、洗切小学校、そして、この長与町から広めていきます。

令和6年8月9日 児童代表 洗切小学校6年

# 核兵器の廃絶を願って～

## 平和のつどい

毎年8月9日に開催しています。子どもたちによる平和のメッセージ発信、平和宣言などを行い、原爆犠牲者の慰霊と恒久平和を願います。

## 平和宣言

79年前の8月9日。

私たちのふるさと、長崎で起きたことを決して忘れてはいけません。

原子爆弾は一瞬にして長崎の街を焼き尽くし、  
たくさんの人や生き物の命を奪いました。

その後、平和を祈りどんなに辛くても、  
苦しくても生き抜いた人々がいたからこそ今の私たちがあるのです。

豊かな自然、心が安らぐ家庭、みんなが楽しく過ごせ、  
充実した学習ができる学校。

そんな故郷で私たちは生きています。

祖先から受け継いだ、かけがえのないこの平和なふるさとを  
自分たちで守ろうとする強い意志を私たちは持たなければならないのです。

近年、世界各国では戦争が続いており、  
多くの人々が家族や友人を失い、家屋を破壊され、平和な生活を奪われています。

戦争は、人間が起こすもの。

いじめや差別、無関心、価値観の違いで争いが生まれます。

世界では、命を奪う戦争や暴力が絶えることなく続けられ、  
今、このときも多くの命が奪われ、心や体が傷つけられています。

あなたの心の中は、今、平和ですか。

平和の本当の意味を仲間とともに考え続けるために、  
唯一の被爆国である日本に住む自分たちにできることを見つけ、  
行動していくことを今日、長崎原爆の日に誓います。

- 一、互いに認め合い、戦争ゼロの世界を作っていきます。
- 一、一人一人の意見を尊重し、みんな平等に接します。
- 一、ダメなことはダメとはっきり一人一人が言えるようになります。
- 一、世界は一つです。たくさんの国とつながり平和に過ごせることに感謝します。
- 一、過去の出来事を忘れず、平和について学び、実現する方法を考え続けます。

2024年8月9日 長与町立長与中学校生徒一同

次ページ 平和への取組みを紹介します

# 平和への取組み



「平和コンサート in ながよ vol.25」 ～平和の祈りを音楽に乗せて～



8月4日、町民文化ホールで開催されました。今年で25回目となる平和コンサートに、子どもから大人まで総勢100人ほどの方が参加しました。最後は出演者一同で演奏する「ふるさと」で盛会の裡に幕を閉じました。ご来場いただいた方からは「素晴らしい演奏ばかりだった」「演奏を聞いて無意識に顔がほころんでいることに気づいた。世の中の人たちが音楽をニコニコ楽しめる世界になればよいなと思った」等の声をいただきました。ご協力、ご来場いただいた全ての皆さまに心より感謝を申し上げます。

平和コンサートinながよ Facebook  
Facebookにてコンサートの様子を  
紹介しています。ぜひご覧ください。



## 「原爆被爆者救援・救護活動 炊き出し釜跡地」に銘板を設置しました

8月7日、広瀬酒本舗(齊藤郷)敷地内において、原爆被爆者の救護活動で使用された炊き出し釜の跡地に、銘板を設置しました。

爆心地から6.5kmの場所に位置する広瀬酒本舗では、地元警防団の要請を受け、原爆投下の翌日から、負傷した被爆者のために私財を投げ打って、おにぎりの炊き出しが行われました。戦時の供出を免れていた麴づくり用の鉄釜が使用されたこの炊き出しは、1回当たり約500食分を1日3回、約10日間続き、使った米は1,500俵にも上ったそうです。おにぎりは、負傷者が収容されていた長与国民学校及び同高田分校に配られました。

実際に使われた鉄釜は、現在では長崎原爆資料館で展示されています。



## 長与町被爆体験談集－想う、そしてつなぐ－

被爆された方々の過去の辛い体験と平和への強い願いを後世に残すため、多くの町民の協力を経て、平成23年に被爆体験談集を発行しました。「長与町被爆体験談集」は、町図書館をはじめ、各公共施設で閲覧・貸出が可能です。多くの方々の目に触れ、戦争の悲惨さ、そして平和の大切さが継承されることを願っています。ぜひ、ご覧ください。



長与町ホームページからも閲覧  
できます

## 原爆展



核兵器が広島・長崎にもたらした被害の様子や平和の大切さを伝えることを目的とし、原爆の熱線や爆風による被害の様子の写真、そのほか代表小・中学生による平和宣言、平和のメッセージ、千羽鶴を展示しています。

## 原爆受難者慰霊祭



8月9日、原爆投下によって尊い命を落とされた犠牲者の霊を弔うために、原爆被爆者の会や関係者などが参列し、原爆投下時刻の11時2分に爆心地の方向へ黙とうを捧げ、犠牲者の冥福と恒久平和を祈りました。

## 長与町平和事業の歩み

昭和42年	「原爆受難者之墓」を建立
平成6年	「平和で安全な町」を宣言
平成8年	平和祈念碑「愛・二人」を中尾城公園内に建立
平成12年～	「平和コンサートin ながよ」を開催
平成13年	日本非核宣言自治体協議会に加盟
平成17年～平成26年	「平和のともしび」を開催
平成18年	中尾城公園内に「平和の広場」を整備し、その象徴として「平和の塔」を建立
平成20年	平和首長会議に加盟
平成22年	「平和で安全な町」宣言塔を庁舎前に設置
平成22年～	「原爆展」を開催
平成23年	「長与町被爆体験談集」を発行
平成27年	「平和のつどい」を開催 広島平和記念式典に中学生を派遣 「長与国民学校」銘板を設置
平成29年	「原爆救援列車」銘板と「C57形蒸気機関車の車輪」を長与駅ロータリーに設置
平成30年	「長与国民学校高田分校」銘板を九州電力長与変電所周辺に設置
令和元年	ICAN「ノーベル平和賞メダル・賞状(レプリカ)」展示会を町民ホールで開催
令和4年	「原爆救援列車」銘板と「C57形蒸気機関車の車輪」を道ノ尾駅駅舎前に設置
令和6年	「原爆被爆者救援・救護活動 炊き出し釜跡地」がある広瀬酒本舗(斉藤郷)に銘板設置

原爆被爆者救援・救護活動  
炊き出し釜跡地



## 長与町内 平和マップ

町内にある祈念碑や遺構などについて紹介します。  
今回紹介するもの以外にも、平和に関する展示品や跡地があります。足を運んでみてはいかがでしょうか。

祈念碑や遺構  
などの詳細は  
こちら



「C57形蒸気機関車の車輪」  
臨時救護所跡

川平有料道路  
高田ランプ

高田駅

長与川

長与駅

忠霊塔公園

中尾城公園

平和の広場  
・平和祈念碑「愛・二人」  
・平和の塔  
・「平和で安全な町」宣言プレート  
・被爆の木(ザクロ・アオギリ・柿)

長与国民学校

高田分校跡

高田保育所

長与国民学校

高田分校跡

臨時救護所跡

道ノ尾駅